

有効成分チフルザミドを含有する農薬の使用方法

1. 登録番号 20071：グレータム箱粒剤（チフルザミド 2.0%粒剤）

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	チフルザミドを含む 農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	紋枯病	育苗箱 (30×60×3 cm、使用 土壌 約 5 L) 1 箱当り 50 g	移植当日	1 回	育苗箱の上から均 一に散布する。	3 回以内 (移植時までの処 理は 1 回以内、本 田では 2 回以内)

2. 登録番号 20585：イカルガ 3 5 S C（チフルザミド 35.0%水和剤）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	チフルザミド を含む農 薬の総使 用回数
日本芝	葉腐病 (ラージパッチ)	333 倍~667 倍	0.1 L/m ²	発病初期	2 回以内	散布	2 回以内
	葉腐病 (ラージパッチ)、 疑似葉腐病 (春はげ症)	1000~2000 倍	0.3 L/m ²				
	フェアリーリング病	3000~4000 倍	1 L/m ²				
西洋芝 (ペントグラス)	葉腐病 (ブラウンパッチ)	2000 倍	0.5 L/m ²				
	炭疽病	1000 倍					
	炭疽病、 タラースポット病	400 倍	0.2 L/m ²				
	フェアリーリング病	3000~4000 倍	1 L/m ²				
西洋芝 (ブルーグラス)	雪腐小粒菌核病	1000~2000 倍	0.3 L/m ²	根雪前			

3. 登録番号 21017：ビルダープリンスグレータム粒剤、
登録番号 21018：ホクコービルダープリンスグレータム粒剤
(フィプロニル 1.0%・チフルザミド 3.0%・プロベナゾール 10.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲 (箱育苗)	いもち病 紋枯病 ウンカ類 コブノメイガ ニカメイチュウ イネツトムシ	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50 g	緑化期 ～ 移植当日	1 回	育苗箱の苗の上から均一に 散布する。
	白葉枯病 もみ枯細菌病 内穎褐変病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) イネトモイシ イネミスゾウムシ イネヒメハモグリバエ イネクロカメシ イネザミウマ				
	いもち病 紋枯病 白葉枯病 もみ枯細菌病 内穎褐変病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) ウンカ類 イネツトムシ イネトモイシ イネミスゾウムシ イネヒメハモグリバエ イネクロカメシ イネザミウマ コブノメイガ ニカメイチュウ	高密度には種する場合 は 1 kg/10 a (育苗箱 30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50~100 g)	移植 3 日前 ～ 移植当日		

フィプロニルを含む 農薬の総使用回数	チフルザミドを含む 農薬の総使用回数	プロベナゾールを含む 農薬の総使用回数
1 回	3 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内、 本田では 2 回以内)	2 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内)

4. 登録番号 21410：クミアイフルサポート箱粒剤、

登録番号 21411：フルサポート箱粒剤

(イミダクロプリド 2.0%・スピノサド 0.75%・チフルザミド 3.0%・トリシクラゾール 4.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲 (箱育苗)	いもち病 紋枯病 ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ コブノメカイ イネツトムシ フタホビコヤガ イネトノオイムシ イネミスズウムシ	育苗箱(30×60×3 cm、使用 土壌約 5 L) 1 箱当り 50 g	移植 2 日前 ～ 移植当日	1 回	育苗箱の上から 均一に散布する。
		高密度には種する場合は 1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50~100 g)			

イミダクロプリドを含む 農薬の総使用回数	スピノサドを含む 農薬の総使用回数	チフルザミドを含む 農薬の総使用回数	トリシクラゾールを含む 農薬の総使用回数
3 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内、 本田での散布は 2 回以内)	1 回	3 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以 内)	4 回以内 (育苗箱への処理は 1 回 以内、本田では 3 回以内)

5. 登録番号 22706 : ルーチンアドスピノ G T 箱粒剤、
登録番号 23039 : シャリオ箱粒剤
(イミダクロプリド 2.0%・スピノサド 1.0%・イソチアニル 2.0%・チフルザミド 3.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	スピノサドを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数	チフルザミドを含む農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	イネツムシ ニカメイチュウ イネミスゾウムシ イネトモイシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ フタホシコヤガ いもち病 紋枯病 白葉枯病	育苗箱 (30×60×3 cm、使用 土壌約 5 L)1 箱当 り 50 g	移植 2 日前~ 移植当 日	1 回	育苗箱 の上か ら均一 に散布 する。	3 回以内 (移植時 までの処 理は 1 回 以内、本 田での散 布は 2 回 以内)	1 回	3 回以 内(移植 時までの 処理は 1 回以内、 本田では 2 回以 内)	3 回以 内(移植 時までの 処理は 1 回以内、 本田では 2 回以 内)
	もみ枯細菌病 内穎褐変病		移植当 日						

6. 登録番号 23202 : D r. オリゼフェルテラグレートタム粒剤、

登録番号 23203 : ホクコーD r. オリゼフェルテラグレートタム粒剤 (クロラントラニ
リプロール 0.75%・チフルザミド 3.0%・プロベナゾール 24.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤 の使用 回数	使用方法	クロラントラニ プロールを含む農薬の 総使用回数	チフルザミド を含む農薬の総 使用回数	プロベナゾ ールを含む農薬の総 使用回数
湛水 直播 水稻	いもち病 いねみづうみし いねどろいみし	1 kg/10 a	は種時	1 回	は種同時 施薬機を 用いて土 中施用す る。	1 回	3 回以内 (は種時ま での処理は 1 回以内、 本田では 2 回以内)	2 回以内 (は種時ま での処理 は 1 回以 内)
稲			移植時		側条施用		3 回以内 (直播での は種時又は 移植時まで の処理は 1 回以内、本 田では 2 回以内)	2 回以内 (移植時ま での処理 は 1 回以 内)
稲 (箱育 苗)	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 紋枯病 いねみづうみし いねどろいみし ツマグロヨコバイ フタホビコヤガ	育苗箱(30 ×60×3 cm、使用 土壌約 5 L)1 箱当 り 50 g 高密度に は種する 場合は 1 kg/10 a(育 苗箱 (30×60×3 cm、使用 土壌約 5 L) 1 箱当り 50~100 g)	移植 3 日前 ~ 移植 当日	1 回	育苗箱の 苗の上か ら均一に 散布す る。	1 回	3 回以内 (移植時ま での処理は 1 回以内、 本田では 2 回以内)	

7. 登録番号 23256：日産ビームプリンスグレータム箱粒剤

(フィプロニル 1.0%・チフルザミド 3.0%・トリシクラゾール 4.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲 (箱育苗)	いもち病 紋枯病 ウンカ類 コブノメカ イネミズウムシ イネトヨイムシ ニカメイチュウ	育苗箱 (30×60×3 cm、使用 土壌約5 L) 1箱当り 50 g	移植3日前 ～ 当日	1回	育苗箱の上から均 一に散布する。
		高密度には種する場 合は1 kg/10 a(育苗箱 (30×60×3 cm、使用 土壌約5 L) 1箱当り 50～100 g)			

フィプロニルを含む 農薬の総使用回数	チフルザミドを含む 農薬の総使用回数	トリシクラゾールを 含む農薬の総使用回数
1回	3回以内 (移植時までの処理は1回以内、 本田では2回以内)	4回以内 (育苗箱への処理は1回以内、 本田では3回以内)

8. 登録番号 23687：アドニスG T箱粒剤

(クロラントラニプロール 0.75%・チフルザミド 3.0%・トリシクラゾール 4.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲 (箱育苗)	いもち病 紋枯病 イネミズウムシ イネトヨイムシ ツマグロヨコバイ コブノメカ ニカメイチュウ フタホヒコヤガ	育苗箱 (30×60×3 cm、使 用土壌約5 L)1箱 当り 50 g	移植3日前 ～ 当日	1回	育苗箱の上から均 一に散布する。

クロラントラニプロールを含む 農薬の総使用回数	チフルザミドを含む 農薬の総使用回数	トリシクラゾールを含む 農薬の総使用回数
1回	3回以内 (移植時までの処理は 1回以内、本田では2回以内)	4回以内 (育苗箱への処理は1回以内、 本田では3回以内)

9. 登録番号 23848 : ホクコービルダーフェルテラチェス G T 粒剤、
登録番号 23849 : ビルダーフェルテラチェス G T 粒剤
(クロラントラニリプロール 0.75%・ピメトロジン 3.0%・チフルザミド 3.0%・
プロベナゾール 10.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲 (箱育苗)	いもち病 紋枯病 ウカ類 ツマグロヨコバイ コブノメガ	育苗箱 (30×60×3 cm、使用 土壌約5 L) 1箱当り50 g	緑化期 ～ 移植当日	1回	育苗箱の苗の上から 均一に散布する。
	イネズミゾウムシ				
	いもち病 紋枯病 ウカ類 ツマグロヨコバイ コブノメガ イネズミゾウムシ	高密度には種する 場合は1 kg/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1 箱 当り50～100 g)	移植3日前 ～ 移植当日		

クロラントラニリプロールを含む 農薬の総使用回数	ピメトロジンを含む 農薬の総使用回数	チフルザミドを含む 農薬の総使用回数	プロベナゾールを含む 農薬の総使用回数
1 回	3 回以内 (移植時までの処理 は 1 回以内、本田で は 2 回以内)	3 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)	2 回以内 (移植時までの 処理は 1 回以内)

10. 登録番号 23933 : パルサーフロアブル (チフルザミド 21.1%水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	チフルザミドを 含む農薬の 総使用回数
ばれいしょ	黒あざ病	200 倍	種いも重量の 3%	植付前	1 回	種いも散布	1 回
だいず	リゾクトニア根腐病	原液	乾燥種子 1 kg 当り 2 mL	は種前		種子吹き付け処理又は 塗沫処理	
てんさい	根腐病	1000 倍	ペーパーポット 1 冊当 り 1 L(3 L/m ²)	定植前		苗床 灌注	

11. 登録番号 23934 : グレータムフロアブル (チフルザミド 21.1%水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	チフルザミドを 含む農薬の 総使用回数
稲	紋枯病	2000~4000 倍	60~150 L/10 a	収穫 7 日前 まで	2 回以内	散布	3 回以内 (直播での は種時又は 移植時までの 処理は 1 回 以内、本田 では 2 回以 内)

1 2. 登録番号 24233 : ブイゲットハコレンジャー L 粒剤、
登録番号 24356 : ハコガード粒剤
(クロラントラニリプロール 0.75%・トリフルメゾピリム 0.75%・チアジニル 6.0%・
チフルザミド 3.0%粒剤)

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用 方法	クロラントラニ プロールを含む農薬の 総使用回数	トリフルメゾ ピリムを含む農薬の 総使用回数	チアジニルを含む農薬の 総使用回数	チフルザミドを含む農薬の 総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 紋枯病 白葉枯病 もみ枯細菌病 依ズゾウムシ 依トオイトシ ウカ類 ツマグロヨコバイ コブノメガ コメイトユ イトムシ フタバネコガ	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土 壌約5 L) 1箱当り50 g	緑化期~ 移植当日	1回	本剤 の所 定量 を育苗箱 の上 から均一 に散布す る。	1回	1回	3回 以内 (移植時 までの処 理は1回 以内、本 田での散 布は2回 以内)	3回 以内 (移植時 までの処 理は1回 以内、本 田では2回 以内)
	内穎褐変病		移植3日前~ 移植当日						
	いもち病 紋枯病 白葉枯病 もみ枯細菌病 依ズゾウムシ 依トオイトシ ウカ類 ツマグロヨコバイ コブノメガ コメイトユ イトムシ フタバネコガ	高密度には 種する場 合は 1 kg/10 a (育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L) 1箱当り 50~100 g)	緑化期~ 移植当日						
	内穎褐変病		移植3日前~ 移植当日						
稲	ウカ類 コブノメガ	1 kg/10 a	移植時		側条 施用			3回 以内 (直播で のは種又 は移植時 までの処 理は1回 以内、本 田での散 布は2回 以内)	3回 以内 (直播で のは種又 は移植時 までの処 理は1回 以内、本 田では2回 以内)